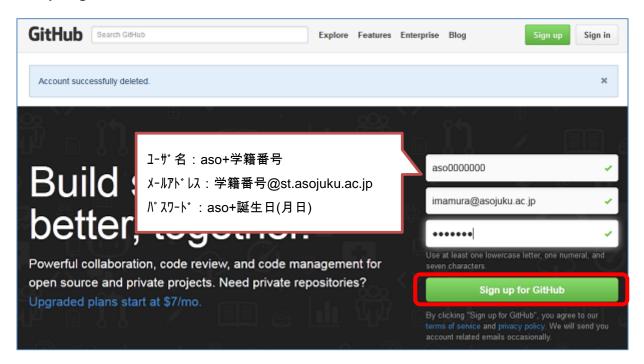
チーム効率を最大化する GitHub の利用

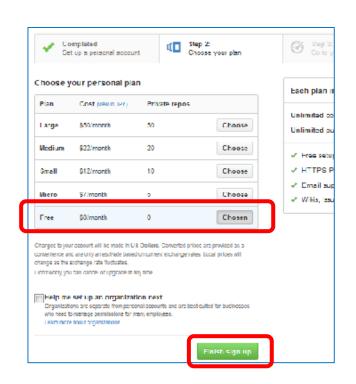
- 1. Github アカウントの作成
- 1.1. github のサイトにアクセスし、アカウントの作成をします。

【https://github.com/】にアクセスし、ユーザ名、メールアドレス、パスワードを設定します。



1.2. github のサイトにアクセスし、アカウントの作成をします。

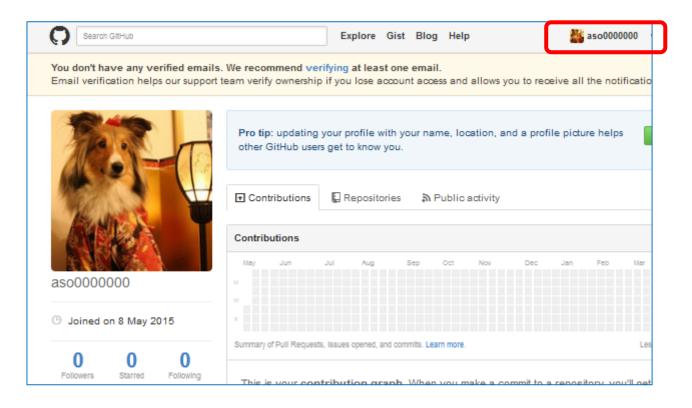
デフォルトで選択されている free(無料)を確認し、Finish を押下します。



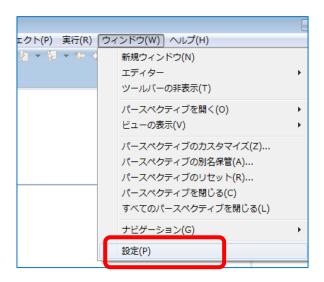
1.3. Profile をクリックし、Upload ボタンを押下し、画像の設定をします。



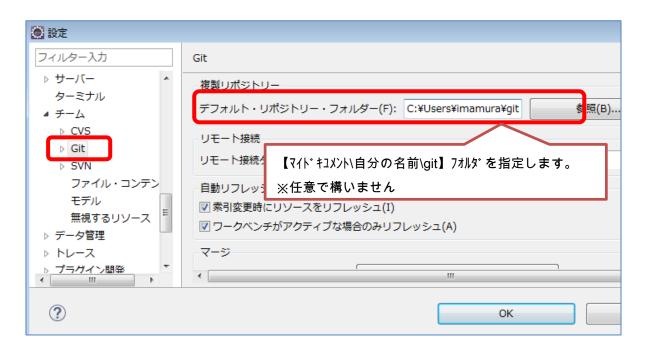
1.4. 自分のユーザ名を押下し、画像が表示されたらアカウントの作成の完了です。



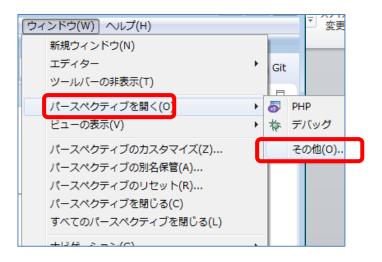
- 2. Eclipse の Git 設定
- 2.1. Eclipse を起動し、ウィンドウ→設定を押下します。



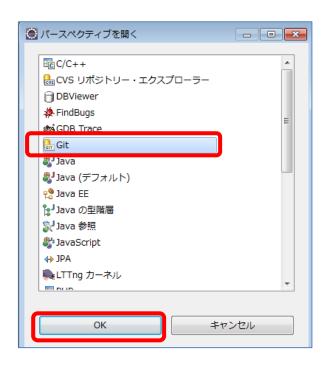
2.2. 設定画面で、チーム→Git を選択し、リポジトリー・フォルダーの設定を行います。



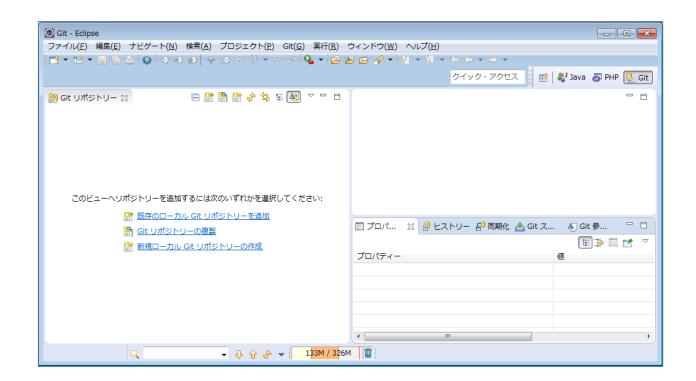
2.3. ウィンドウ→パースペクティブを開く→その他を押下します。



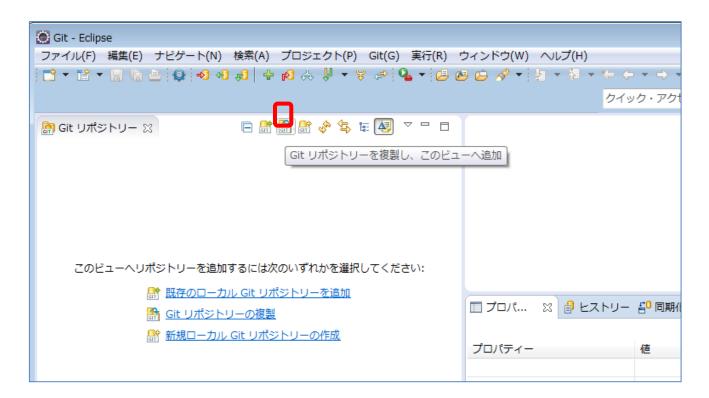
2.4. パースペクティブを開く画面で、Git を選択し、OK を押下します。



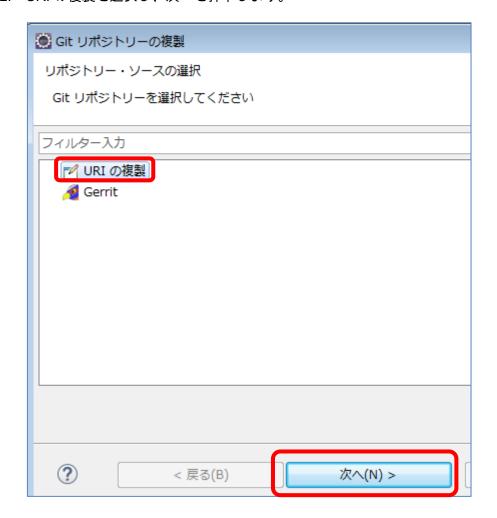
2.5. 下記のような画面が表示されたら完了です。



- 3. 公開リポジトリの取得
- 3.1. Git リポジトリーを複製し、ビューへ追加(アイコンの左から3つ目をクリック)します。



3.2. URIの複製を選択し、次へを押下します。



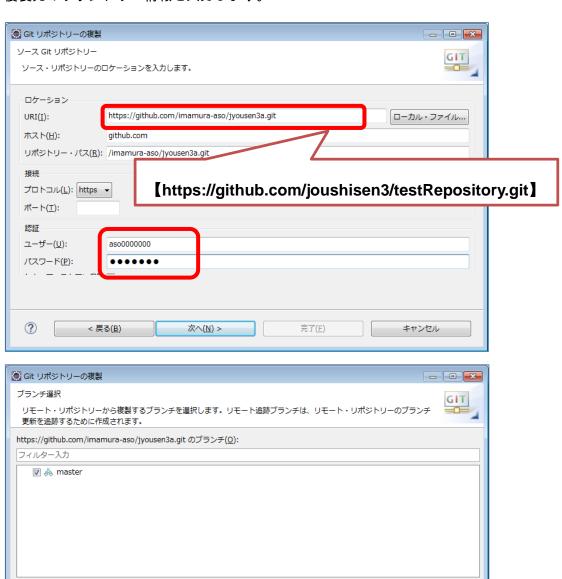
3.3. 複製先のリポジトリー情報を入力します。

すべて選択(<u>S</u>) **選択をすべて解除(<u>D</u>)**

< 戻る(<u>B</u>)

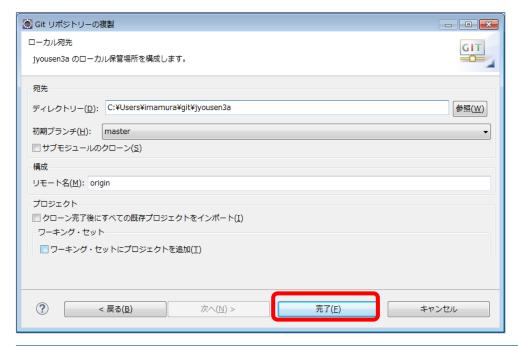
?

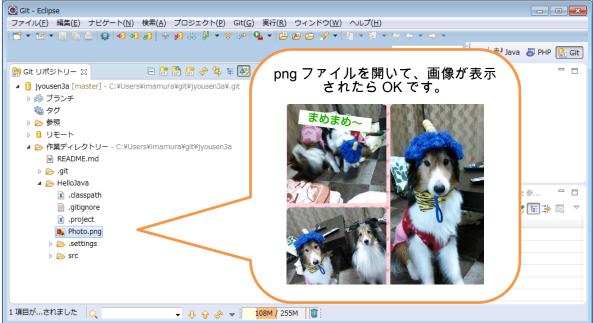
次へ(<u>N</u>) >



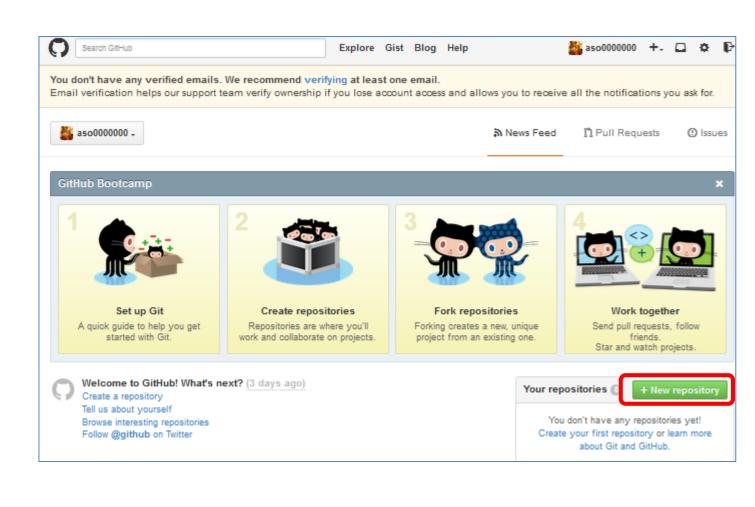
完了(<u>F</u>)

キャンセル

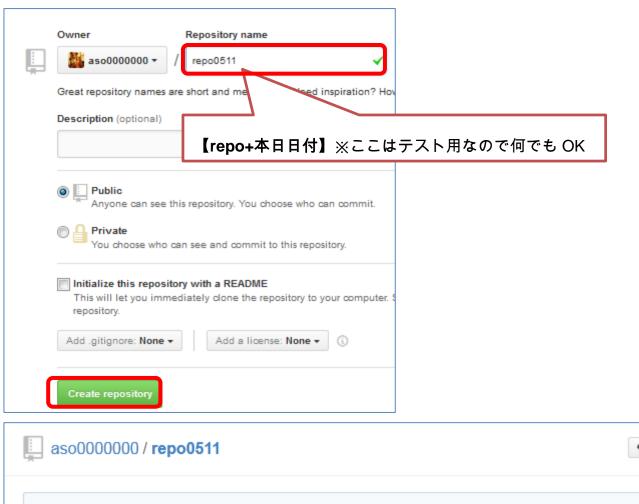




- 4. リポジトリの作成
- 4.1. ブラウザで Github ヘアクセスし、New repository を押下します。

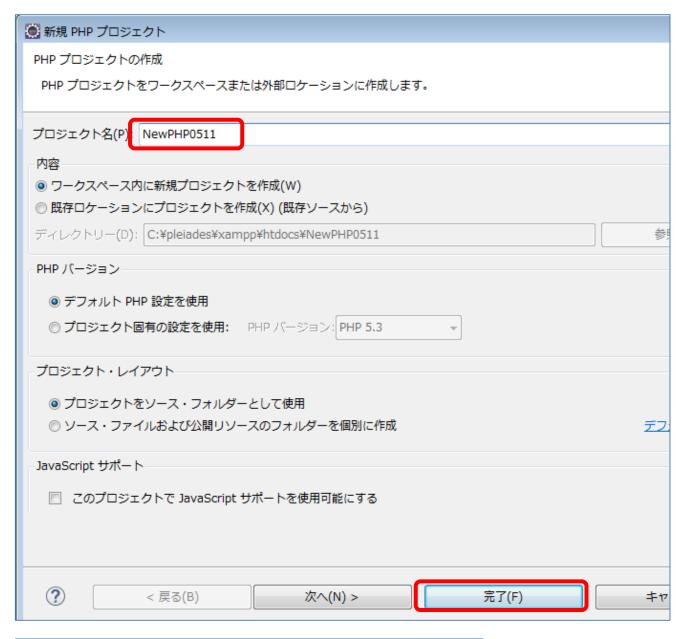


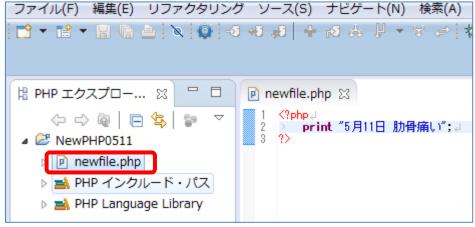
4.2. リポジトリー名を入力し、Create repository を押下します。



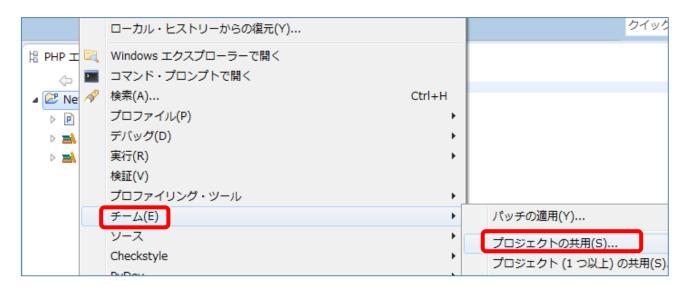


- 5. プロジェクトをリポジトリへアップ
- 5.1. Eclipse で新規プロジェクトを作成します。表示用のファイルを追加し、保存します。

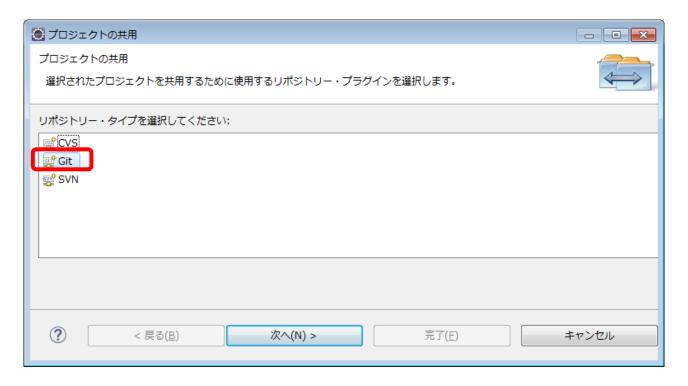




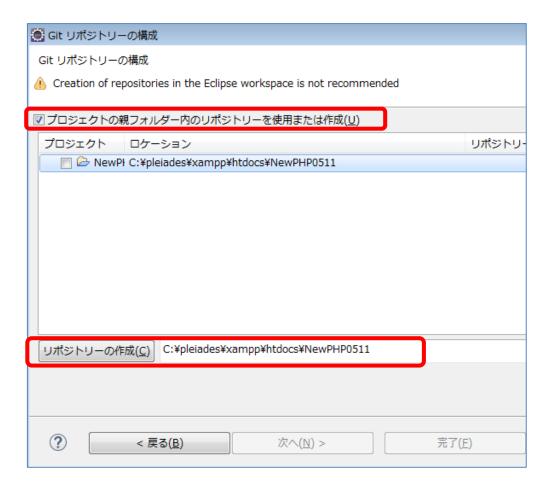
5.2. プロジェクトで右クリックし、チーム→プロジェクトの共用を押下します。



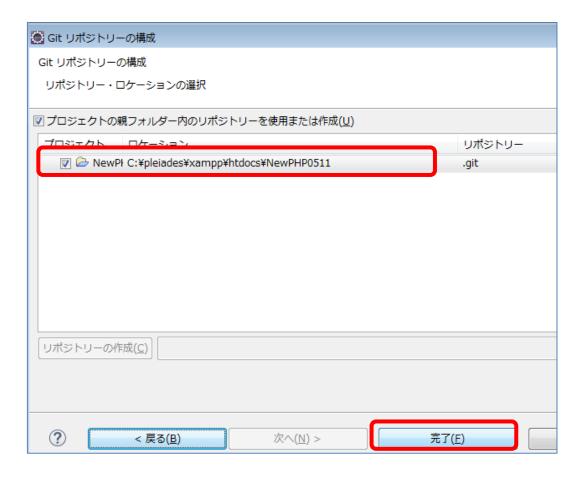
5.3. Git を選択し、次へを押下します。



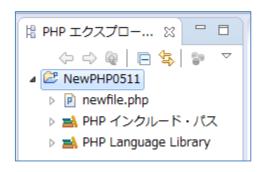
5.4. プロジェクトの親フォルダー内の・チェックし、リポジトリーの作成を押下します。

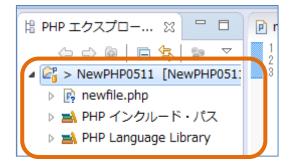


5.5. 新しいリポジトリーにチェックし、完了を押下します。

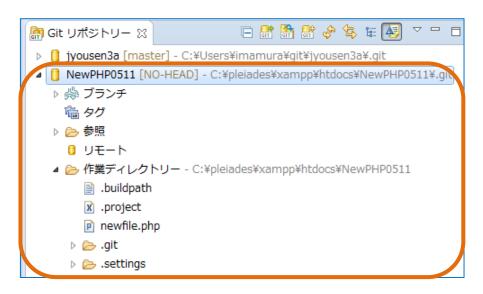


5.6. 共用が完成したら、プロジェクトの部分が右図の様に変更になります。



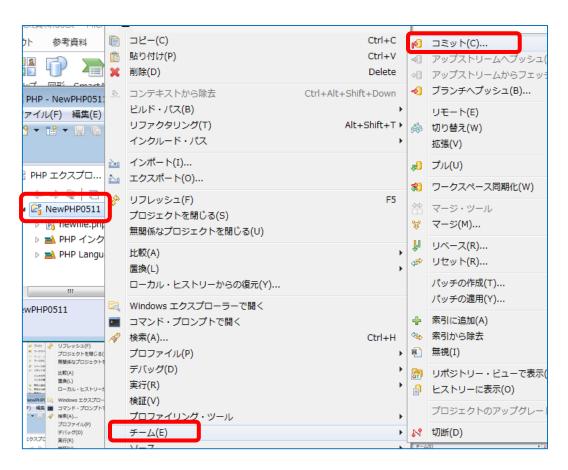


5.7. Git のパースペクティブでは、新しく共用したプロジェクトが表示されています。

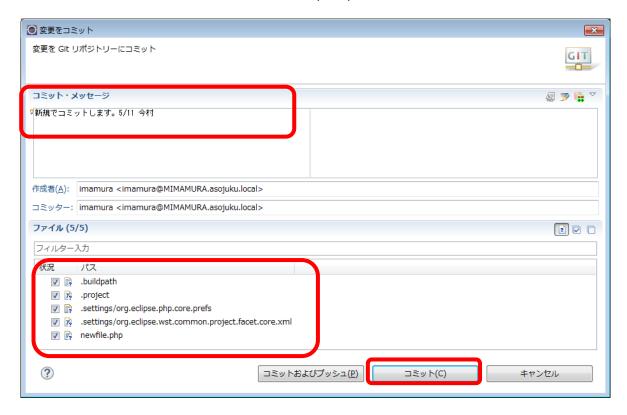


5.8. 次に、Github のサーバー上にアップする準備をします。

プロジェクトを右クリックし、チーム→コミットを押下します。

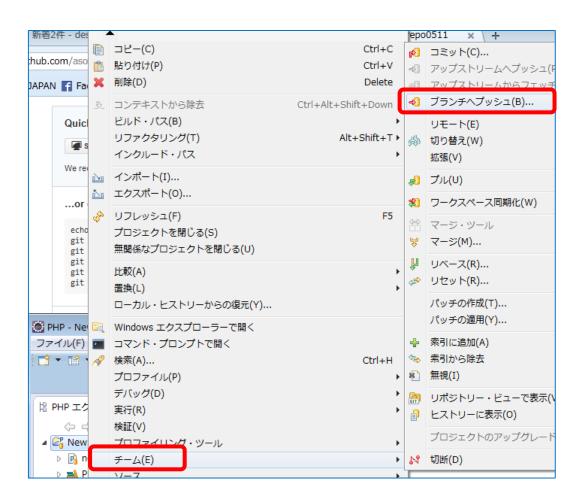


5.9. コミットするソースをチェックし、メッセージ(必須)を入力しないとコミットボタンが有効になりません。



5.10. ブランチヘプッシュします。

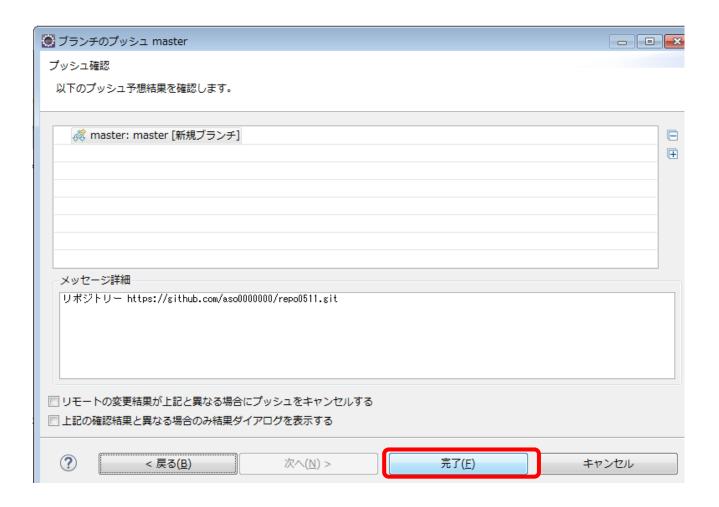
プロジェクトを右クリックし、チーム→ブランチへプッシュを押下します。



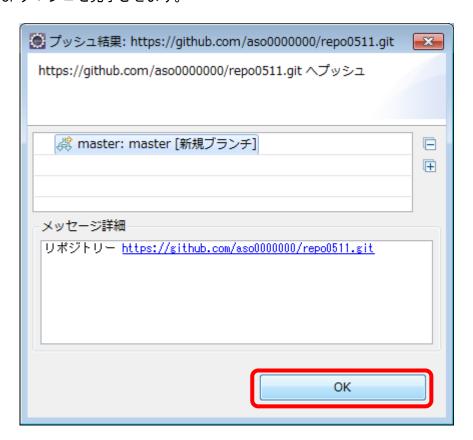
5.11. プッシュ先のロケーションを指定します。※4.2 で表示された URI を利用します。

宛先 Git リポジトリー	
宛先リポジトリーのロケーションを入力してください。	
リモート名(R): origin	
ロケーション	
URI(<u>I</u>): https://github.com/aso000000/repo0511.git	ローカル・ファイル
ホスト(<u>H</u>): github.com	
リポシトリー・パス(R): /aso0000000	
	0544
接続 プロトコル(L): https://github.com/aso0000000/re	epou511.git I
ポート(I):	
認証	
ユーザー(<u>U</u>): aso0000000	
パスワード(P): ••••••	
セキュア・ストアは保管 🗹	
(P) < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)	

5.12. プッシュの詳細を選択します。ここでは、デフォルトのまま完了を押下します。

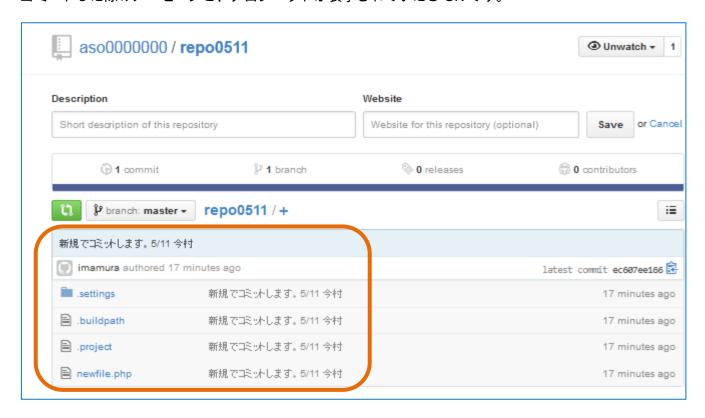


5.13. プッシュを完了させます。

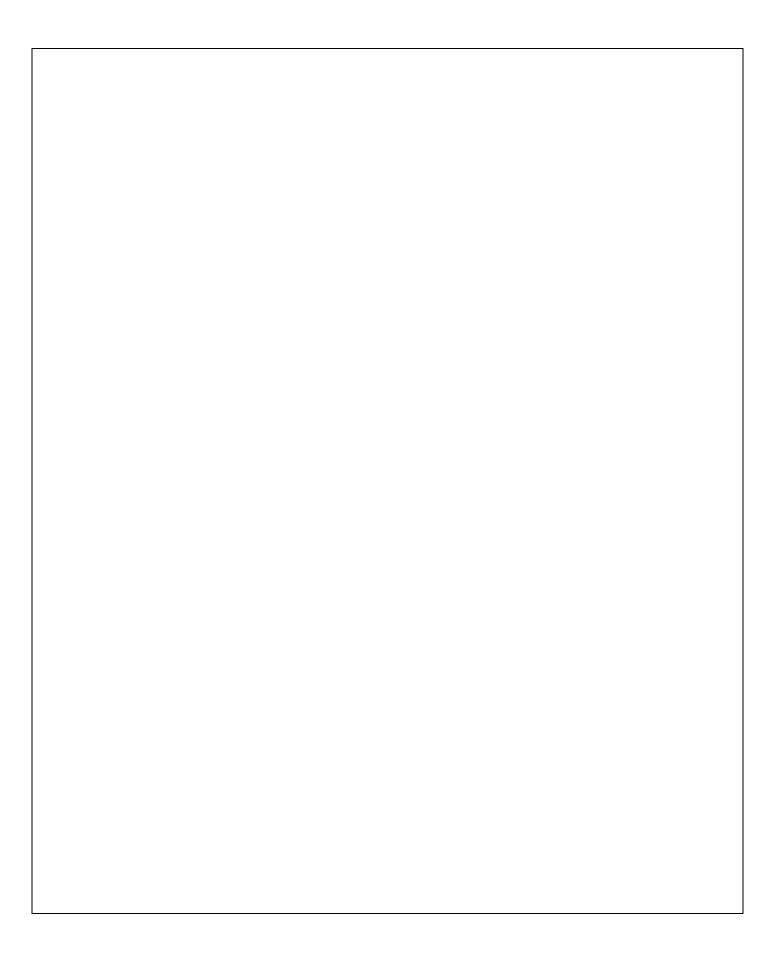


5.14. ブラウザで Github のリポジトリーを確認します。

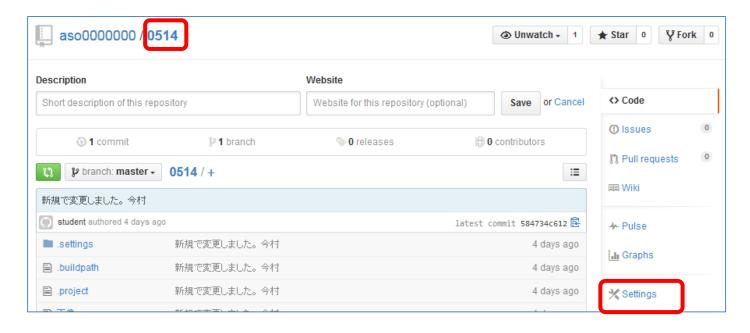
コミットした際のメッセージと、プロジェクトが表示されていたら OK です。



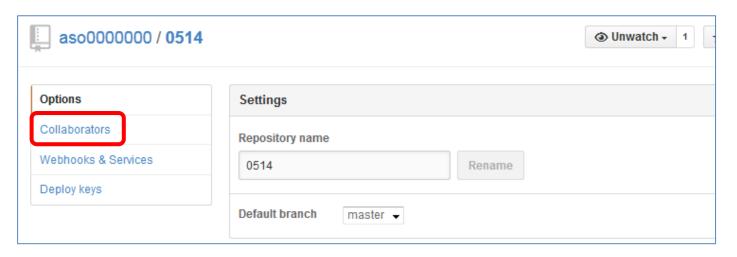
6. 用語集 リポジトリ クローン コミット プッシュ 7. 便利機能についてまとめましょう



- 8. Collaborators (コラボレータ:共同開発者)の追加
- 8.1. Github にログインし、自分が作成したリポジトリをクリックし、右側の Settings をクリックします。



8.2. Settings 画面の左側にある Collaborators をクリックします。

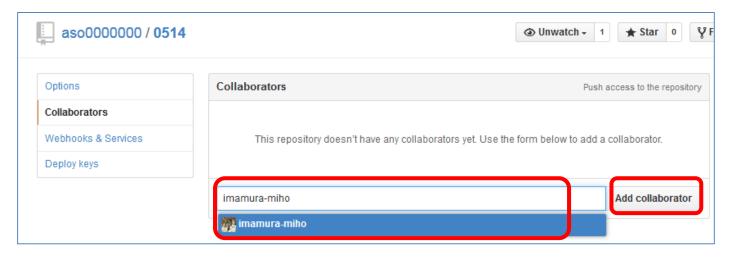


8.3. Collaborators の追加画面に遷移し、追加するユーザを入力します。

ここで、Github アカウントに設定した画像も表示されますので、間違えない様に確認しましょう。

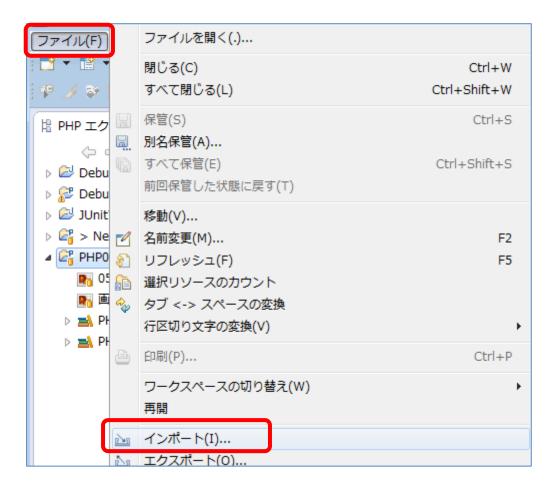
確認後、Add Collaborator ボタンを押下すると、登録できます。

Add された人はメールが届くので承認する必要があります。



8.4. Eclipse でリポジトリ内のプロジェクトのインポートを行います。

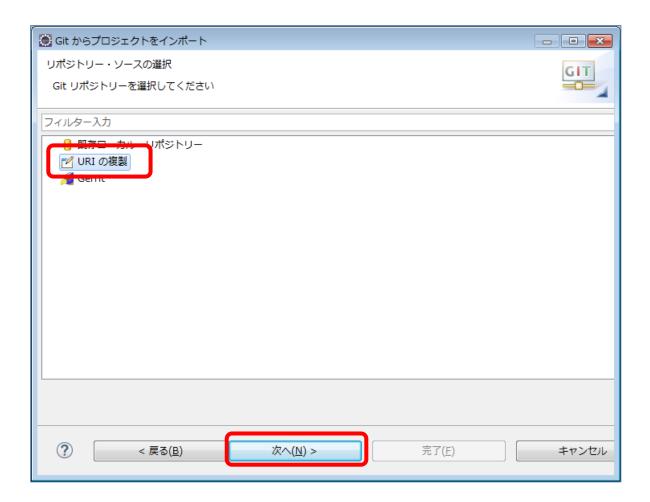
ファイル→インポートを押下します。



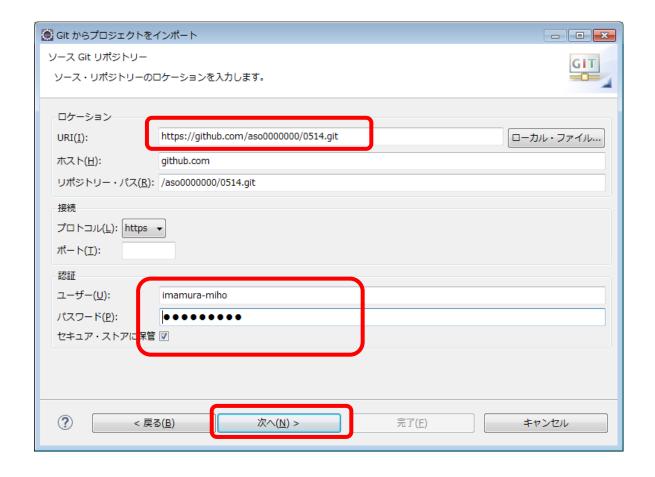
8.5. Git→Git からプロジェクトを選び、次へを押下します。



8.6. URIの複製を選択し、次へを押下します。



8.7. コラボレータとなった URI を入力し、コラボレータとなったユーザを入力し、次へを押下します。



8.8. プロジェクトを確認し、変更します。

ここでは、新しい画像ファイルを追加し、コミットしてプッシュします。



8.9. ブラウザを開いて確認すると、追加した画像ファイルが更新されていることが確認できます。

